

令和6年度 アクションプラン

(第10回補正予算分)

変更箇所

基本的施策1 市民自治活動・学び

No.5 市内生涯学習施設整備事業 ----- P8

- 事業概要の変更
- 期待する効果の変更
- 各年度の取組（R6～R7）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

基本的施策3 こども・子育て支援

No.9 地域スポーツ推進事業 ----- P38

- 事業概要の一部変更
- 各年度の取組（R6～R7）の一部変更
- 総事業費（R6～R9）の変更

基本的施策4 学校・教育

No.13 小中学校施設の計画的な大規模改修事業 ----- P64

- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R7～R9）の変更

基本的施策7 健康づくり・医療

No.4 市内体育施設整備事業 ----- P104

- 各年度の取組（R6～R8）の一部変更
- 総事業費（R6～R7）の変更

基本的施策8 防災・減災・消防

No.5-1 避難所資機材の充実 ----- P114

- 事業概要の変更
- 期待する効果の一部変更
- 各年度の取組（R6～R7）の一部変更
- 総事業費（R6～R7）の変更
- その他特記事項の変更

No.5-2 防災備蓄倉庫の新設（追加） ----- P114-1

No.12 奈良市・生駒市消防指令センター通信指令システム更新整備事業
----- P121

- 事業概要の一部変更
- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R6～R9）の変更
- その他特記事項の一部変更

基本的施策9 産業・雇用就労（1）

No.1 ものづくり創業環境支援事業 ----- P126

- 各年度の取組（R7）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

No.12 多様な雇用・就労環境拡大促進事業 ----- P135

- 各年度の取組（R7～R9）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

No.13 市内事業者人材確保・育成事業 ----- P136

- 各年度の取組（R6～R7）の一部変更
- 総事業費（R6～R7）の変更

基本的施策12 街の空間づくり

No.5 公園施設長寿命化事業 ----- P176

- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R7～R9）の変更
- KPI（指標銘・目標値）の一部変更

No.11 南生駒駅周辺地区バリアフリー整備事業 ----- P182

- 各年度の取組（R5～R9）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

基本的施策13 都市基盤

No.11 学研北生駒駅中心地区まちづくり推進事業 ----- P199

- 期待する効果の一部変更
- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R7～R9）の変更
- その他特記事項の変更

No.16 橋梁長寿命化修繕事業 ----- P204

- 各年度の取組（R5～R9）の一部変更
- 総事業費（R6～R9）の変更

経営的施策I スマートシティ・DX

No.8 戸籍における氏名の振り仮名の記載に対応するためのシステム改修等

----- P223

- 各年度の取組（R6～R7）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

経営的施策IV 行政経営

No.3 公共施設マネジメントの推進 ----- P242

- 本事業に関係を有する課の一部変更
- 事業概要の一部変更
- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R6～R8）の変更

No.5 オフィス改革 ----- P244

- 各年度の取組（R6～R9）の一部変更
- 総事業費（R7）の変更

No.5

事業名	市内生涯学習施設整備事業	事業区分	継続事業	主担当課	スポーツ振興課	本事業に関係を有する課	施設マネジメント課、ファシリティマネジメント推進室
事業概要	誰もが安心・安全に利用できる施設を維持するため、老朽化が進んでいる市内生涯学習施設の改修や修繕を適宜進める。						
期待する効果	故障等の迅速な対応で、貸館・貸室の停止を最小限に行うことで、利用者の継続した生涯学習活動を担保し、安心・安全を確保することができる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
	<ul style="list-style-type: none"> 【R4繰越】 ▶ たけまるホール高架水槽取替 ▶ 工事 【R5当初】 ▶ 北コミ空調工事設計業務 ▶ コミセン文化ホール調光操作 ▶ 卓改修 ▶ コミセンLED改修(1・4階) ▶ 南コミ駐車場用地鑑定・購入 ▶ 南コミ噴水跡整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北コミ空調工事(1期) ▶ 南コミ駐車場整備工事設計業務 ▶ 務 ▶ コミセンLED改修(2階) ▶ 生駒セイセイビル非常用予備発 ▶ 電装置制御部品更新工事 【R6補正(繰越)】 ▶ 南コミ駐車場整備工事(8,501千円繰越) ▶ 南コミ空調設備更新工事設計(7,556千円繰越) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北コミ空調工事(2期) ▶ コミセンLED改修(地下・3階) ▶ 図書館LED改修(1・2階) ▶ 図書館授乳室移設工事 【R6補正(繰越分)】 ▶ 南コミ駐車場整備工事 ▶ 南コミ空調設備更新工事設計 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 南コミ空調工事(1期) ▶ 芸術会館美楽来空調設計業務 ▶ 芸術会館美楽来ガス消火設備更新(法改正分) ▶ コミセン音響舞台関係改修(1期) ▶ 各施設火災受信機改修 他 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北コミ図書館空調設計業務 ▶ 南コミ空調工事(1・2期) ▶ 芸術会館美楽来空調工事 ▶ コミセン音響舞台関係改修(2期) ▶ 芸術会館美楽来蓄電池設備更新 ▶ 南コミ音響舞台関係改修(1期) ▶ 芸術会館美楽来空調工事(2期) 他 		
総事業費(千円)	142,094	99,703	102,641	未定	未定		
特定財源(国・県補助金等)	88,589	13,739	3,823				
その他	30,198	84,800	92,348				
一般財源	23,307	1,164	6,470				
事業実施に当たっての懸念事項	個別施設計画との整合性を図りながら、点検結果等から優先順位を見極めて効率よく実施していく一方で、人件費や資材の高騰等で工事費が年々上昇している。						
その他特記事項							
KPI(指標名・目標値)							

特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱	(3)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営		○			

事業名	地域スポーツ推進事業	事業区分	継続事業	主担当課	スポーツ振興課	本事業に関係を有する課	障がい福祉課、教育総務課、教育指導課、生涯学習課、図書館	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校部活動の地域移行を見据え、新たな地域クラブを推進するため、学校関係部局や中学校現場等と連携し、事業推進の運営団体(市新たな地域クラブ活動推進協議会)の運営とコーディネーターの配置を行うとともに、市スポーツ協会や市内総合型地域スポーツクラブなどの地域クラブ実施団体の体制強化を図る。また、国や県の方針である令和7年度末までの休日の学校部活動の地域移行を目指すため、専門的な技術を持った指導者の育成や確保など、新たな地域クラブの更なる充実を図る。 ▶ 新たな地域クラブ活動の推進に合わせ、学校体育施設開放事業運用ルールの見直しや施設使用料の設定の検討を行う。 ▶ 多くの市民が参加しやすいスポーツイベントとして「いこまスポーツの日」を開催し、スポーツを始めるきっかけとすることや、市内総合型地域スポーツクラブやスポーツ施設指定管理者の事業を紹介することで、市民の継続的なスポーツ活動に繋げる。 ▶ 障がいのある人が、障がいの種別や程度に関らず、スポーツに親しみ楽しむことができるよう、スポーツ施設の開放事業や障がい児を対象とした「体づくり運動プログラム」を実施する。 							
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校部活動の地域連携・地域移行を進めることで、児童・生徒が望むスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめる環境を創出できる。 ▶ 障がい(児)者のスポーツ活動を推進することで、多様性を認め合い、誰もがスポーツでつながる優しいまちとする 							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合型地域スポーツクラブの推進、支援 ▶ 新たな地域クラブ活動推進協議会及び新たな地域クラブの設置 ▶ 学校体育施設開放事業利用内容等の現状把握 ▶ いこまスポーツの日の開催 ▶ 障がい(児)者のためのスポーツ施設開放事業及び体づくり運動プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合型地域スポーツクラブの推進、支援 ▶ 新たな地域クラブの拡充 ▶ 学校体育施設開放事業運用ルール(利用団体区分や施設使用料の設定)の見直し ▶ いこまスポーツの日の開催 ▶ 障がい(児)者のためのスポーツ施設開放事業及び体づくり運動プログラムの実施 <p>【R6補正(繰越)】 学校施設開放事業に伴う電子錠及び防犯カメラ設置 (20,226千円繰越)</p>	→ → →	→ ▶ 新たな地域クラブの推進 ▶ 学校体育施設開放事業新規運用ルールの開始	→ → →	▶ 新たな地域クラブの推進		
総事業費(千円)	21,761	36,781	27,249	27,149	27,149			
特定財源(国・県補助金等)	10,526	13,903	18,611					
その他	1,600	11,750	1,560	1,560	1,560			
一般財源	9,635	11,128	7,078	25,589	25,589			
事業実施に当たっての懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 現存部活動から地域クラブへの移行期間の児童や生徒の活動が不安定とならない仕組みづくり、地域移行の際に生じる部費等の保護者負担 ▶ 新たな地域クラブ運営経費の捻出 ▶ 学校体育施設開放新規運用ルール見直しに伴う既存利用団体との調整や運用システムの構築に伴う運営経費の増加 							
その他特記事項								
KPI(指標名・目標値)								
特に該当する経営的施策								
I スマートシティ・DX	○	II 市民協働・公民連携	○	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営	戦略的施策	行政改革大綱	(1) (4)

No.13

事業名	小中学校施設の計画的な大規模改修事業		事業区分	継続事業	主担当課	教育総務課	本事業に関係を有する課	
事業概要	学校施設の大規模改修工事を計画的に実施する。 併せて、災害時の避難所である学校施設のバリアフリー化を進めるため、エレベーターの設置についても検討を行うとともに、将来的な児童生徒数を踏まえた改修計画を検討する。							
期待する効果	老朽化の進んだ校舎の更新を行うことで、こどもたちに快適な学習環境を提供することができる。							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	大規模改修工事に向けた耐力度調査・基本設計(上中)(繰越)	【R6補正(繰越)】 大規模改修工事に向けた実施設計(上中) 76,186千円 (うち、31,585千円繰越) 仮設校舎借上契約 (債務負担R6~R9) 0千円	【R6補正(繰越分)】大規模改修工事に向けた実施設計(上中) 大規模改修工事(上中) 967,239千円 工事監理 25,773千円 仮設校舎設置 27,128千円 仮設校舎への移転に伴う委託料 3,298千円 仮設校舎用需用費 1,000千円 備品購入 4,164千円	大規模改修工事(上中) 1,019,266千円 工事監理 27,160千円 仮設校舎設置 95,867千円 大規模改修工事に向けた耐力度調査・基本設計(鹿小) 25,000千円	大規模改修工事(上中) 809,598千円 工事監理 21,573千円 仮設校舎設置 23,967千円 大規模改修工事に向けた実施設計(鹿小) 75,000千円			
総事業費(千円)	17,323	76,186	1,028,602	1,167,293	930,138			
特定財源 (国・県補助金等)			341,720	380,763	285,045			
その他		68,500	510,000	571,100	450,000			
一般財源	17,323	7,686	176,882	215,430	195,093			
事業実施に当たっての懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 校舎工事は夏休みでは終わらないため仮設校舎が必要になる。 ▶ 近年の人件費及び物価の高騰や既存建物に石綿が含まれていた場合は、事業費が増える可能性がある。 ▶ 生駒南小学校・中学校整備事業や途切れなく訪れる大規模改修に対応できるだけのマンパワーと財源の確保が必要になる。 							
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校施設環境改善交付金による補助(1/3)がある。 ▶ 上中学校の財源のその他のうち、R6年度は公共施設等適正管理推進事業債(90%充当30%算入)、R7、R8、R9年度は学校教育施設整備事業債(75%充当30%算入) ▶ 鹿ノ台小学校の財源その他のうち、R9年度は公共施設等適正管理推進事業債(90%充当30%算入) 							
KPI (指標名・目標値)		実施設計 1校	工事着手 1校	工事実施 1校 基本設計 1校	工事実施 1校 実施設計 1校			
特に該当する経営的施策								
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティブロ モーション	IV 行政経営	○	戦略的施策	行政改革 大綱	(3)	

事業名	市内体育施設整備事業	事業区分	継続事業	担当課	スポーツ振興課	本事業に関係を有する課	施設マネジメント課、ファシリテイマネジメント推進室	
事業概要	こどもから高齢者、障がい者まで誰もが安心・安全に利用できる施設とするため、トイレの洋式化を進めるとともに、老朽化が進んでいる市内体育施設を適切に維持管理し、施設利用者の安心と安全を確保する。また、各スポーツ施設の整備が必要となる時期や整備内容、長寿命化を含む整備経費を明らかにし、今後の市スポーツ施設の全体的なあり方を検討するため、スポーツ施設整備等の計画を策定する。							
期待する効果	施設の整備を計画的に行い、今後の方向性を定めることで、整備に係るトータルコストの縮減等を図るとともに施設をより長く安全に使用することができる。							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	<ul style="list-style-type: none"> 【R4繰越】 ▶むかひやま 体育館人工芝張替▶ ▶工事 ▶市民体育館 トイレ改修工事 ▶総合公園体育館 トイレ改修工事 ▶井出山体育館 トイレ改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ▶北大和体育館 トイレ改修工事 ▶市民体育館受水槽更新工事 ▶生駒北S.C.管理棟屋上防水改修工事 ▶スポーツ施設整備等に伴う調査業務 	<ul style="list-style-type: none"> ▶生駒北S.C.トイレ設計・改修工事 ▶むかひやま体育館トイレ設計・改修工事 ▶井出山体育施設テニスコート修繕工事 	未定	未定			
	<ul style="list-style-type: none"> 【R5当初】 ▶井出山体育館 非構造部材及び ▶照明LED改修工事 ▶生駒北S.C.駐車場改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 【R5補正(繰越分)】 ▶北大和体育館 非構造部材及び ▶照明LED改修 	<ul style="list-style-type: none"> 【R6補正(繰越分)】 ▶むかひやま体育館 非構造部材及び ▶照明LED改修工事 					
	<ul style="list-style-type: none"> 【R5補正】 ▶北大和体育館 非構造部材及び ▶照明LED改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 【R6補正(繰越)】 ▶むかひやま体育館 非構造部材及び ▶照明LED改修工事 (25,917千円繰越) 						
総事業費(千円)	34,079	103,555	35,588	未定	未定			
特定財源(国・県補助金等)	6,538	46,072						
その他	26,400	47,500	29,000					
一般財源	1,141	9,983	6,588					
事業実施に当たっての懸念事項	個別施設計画との整合性を図りながら、点検結果等から優先順位を見極めて効率よく実施していく一方で、人件費や資材の高騰等で工事費が年々上昇している。							
その他特記事項								
KPI(指標名・目標値)								
特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱	(3)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営	○				

基本的施策8 防災・減災・消防

R9年度末に目指す状態

市民(自助)・地域(共助)・行政(公助)が協働し、いのちと暮らしを守る取組が進んでいる

	R5	R6	R7	R8	R9
(1)災害対策・危機管理体制の強化	No.1 大規模災害対応能力の向上(防災安全課)				
	No.2 防災DXの促進(防災システムの構築)(防災安全課)				
	No.3 地域の防災力向上(防災安全課)				
	No.4 まるごとまちごとハザードマップ(見える防災)事業(防災安全課)				
	No.5-1 避難所資機材の充実(防災安全課)				
	No.5-2 防災備蓄倉庫の新設(防災安全課)				
	No.6 橋梁耐震化事業(土木課)				
No.7 地籍調査事業(土木課)					

基本的施策8 防災・減災・消防

R9年度末に目指す状態

市民(自助)・地域(共助)・行政(公助)が協働し、いのちと暮らしを守る取組が進んでいる

	R5	R6	R7	R8	R9
(2)火災予防・救急 対応力の向上	No.8 消防団車両更新整備事業(総務課(消防))				
	No.9 消防施設トイレ等改修工事(総務課(消防))				
	No.10 火災予防・救急対応力の強化(予防課・警防課)				
	No.11 消防本部・消防署車両更新整備事業(警防課)				
	No.12 奈良市・生駒市消防指令センター通信指令システム更新整備事業(警防課)				
	No.13 大規模災害時の防災(減災)への取組(消防署)				

事業名	避難所資機材の充実		事業区分	継続事業	担当課	防災安全課	本事業に関係を有する課	
事業概要	令和6年能登半島地震での課題等を参考に、発生初動期の避難所生活の質の向上や衛生環境の維持・改善のため、避難所資機材として、パーティションや簡易ベッド、さらには入浴設備、非常用電源、照明器具等を充実・強化させる。							
期待する効果	避難所の備蓄物資を強化することで、初動期の避難所の環境が改善され、避難者のストレスや不安等を軽減させることができる。また、平時から地域の防災訓練等で使用することで、使用方法や備蓄物資、避難所生活への理解を深めていき、地域住民の防災意識向上につなげる。							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	▶ 避難所資機材の整備 ▶ (当初計画分) 2,165千円 ▶ 追加配備する資機材の精査	▶ 避難所資機材の整備 ①災害用トイレセット 17,066千円 ②携帯電話充電器等 1,526千円 【R6補正(繰越)】 追加整備全体 51,056千円 ①段ボールベッド 500台 ②テント式パーティション 500基 ③蓄電池・ソーラーパネル 35台 ④投光器 35台 ⑤循環型シャワーキット 1台 ⑥循環型手洗いスタンド 1台	▶ 避難所資機材の整備 【R6補正(繰越分)】 追加整備全体 ①段ボールベッド 500台 ②テント式パーティション 500基 ③蓄電池・ソーラーパネル 35台 ④投光器 35台 ⑤循環型シャワーキット 1台 ⑥循環型手洗いスタンド 1台	▶ 避難所資機材の整備		→		
総事業費(千円)	2,165	69,648	0	未定	未定			
特定財源(国・県補助金等)		25,177						
その他								
一般財源	2,165	44,471	0					
事業実施に当たっての懸念事項	備蓄スペースの確保							
その他特記事項	補正予算での追加整備分については、国の補正予算により新設された「新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)」を活用する。							
KPI(指標名・目標値)	資機材整備率(%)	当初計画分は完了	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇

特に該当する経営的施策					戦略的施策	行政改革大綱	(1)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営				

No.5-2

事業名	防災備蓄倉庫の新設	事業区分	新規事業	担当課	防災安全課	本事業に関係を有する課	
事業概要	<p>防災倉庫については、令和4年度までに全避難施設への設置が完了し、現在さらなる避難所資機材の追加配備を進めているところである。 また、備蓄食糧については、令和8年度までに備蓄量約10万食を目標に購入を進めているが、既存倉庫スペース内に収容できない恐れがある。 そのため、備蓄食糧や避難所用資機材の充実を踏まえ、十分な収容能力を持った集中備蓄スペース(防災倉庫)を確保する必要があり、まずは、追加整備する資機材を収納する備蓄倉庫を整備する。大型の集中備蓄倉庫については、今後も引き続き確保に向け検討を進める。</p>						
期待する効果	大規模災害を想定した事前備蓄が可能となり、災害時の支援強化につながる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
		【R6補正(繰越)】 集中備蓄倉庫 2台 12,265千円	【R6補正(繰越分)】 集中備蓄倉庫 2台	・追加資機材の精査・購入 ・既存倉庫の整理 ・さらなる倉庫スペースの確保	・倉庫整理 ・資機材の入替・追加整備 ・さらなる倉庫スペースの確保		
総事業費(千円)	0	12,265	0	0	0		
特定財源 (国・県補助金等)		6,132					
その他		6,100					
一般財源	0	33					
事業実施に当たっての懸念事項	設置場所の選定						
その他特記事項	その他の財源は地方債を活用						
KPI (指標名・目標値)	資機材整備率 (%)	当初計画分は完了	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇
特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営				

事業名	奈良市・生駒市消防指令センター通信指令システム更新整備事業	事業区分	継続事業	担当課	警防課	本事業に関係を有する課	デジタルイノベーション推進課	
事業概要	<p>平成28年度から運用を開始した奈良市・生駒市消防指令センターの24時間365日、緊急通報を受報し、絶え間なく稼働する消防指令システムを更新整備し、引き続き安定した指令業務を継続及び更なる市民サービスの向上を図る。</p> <p>通信指令システムの更新整備について、令和6年度に整備に向けた調達を実施したが契約に至らなかったことから、令和6年度の当初予算を減額補正し、令和7年度の債務負担行為も廃止とする。なお、更新整備については、当初の計画を変更し、令和7年度の当初予算にて、新たに債務負担行為を設定する。</p>							
期待する効果	<p>安定した消防指令業務の継続及び出動可能な消防隊等がなくなった場合に、通信指令システムにより生駒市又は奈良市の出動隊に自動で出動指令を行うなど、両市の更なる連携・協力を図ることで、迅速な消防活動等に繋げることが期待できる。</p>							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	◇通信指令システム実施設計業務委託 契約金額:9,900千円 負担額:2,580千円	◇通信指令システム更新整備 負担額:2,353千円	◇通信指令システム更新整備 概算整備費:2,777,000千円 生駒市負担額:725,074千円 うち、年割額(15%):108,878千円 ◇車両運用管理装置更新業務(既設) 概算整備費:180,000千円 生駒市負担額:46,998千円 うち、年割額(80%):37,598千円	→ 生駒市負担額:725,074千円 うち、年割額(50%):362,929千円 → 生駒市負担額:46,998千円 うち、年割額(20%):9,400千円	→ 生駒市負担額:725,074千円 うち、年割額(35%):253,267千円			
総事業費(千円)	2,580	2,353	146,476	372,329	253,267			
特定財源(国・県補助金等)								
その他	2,500	2,300	146,400	372,300	253,200			
一般財源	80	53	76	29	67			
事業実施に当たっての懸念事項								
その他特記事項	▶ 事業費については、奈良市と按分により負担 ▶ 財源のその他は「緊急防災・減災事業債」を活用(充当率:100%・交付税算入率:70%)							
KPI(指標名・目標値)								
特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱	(1)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営					

事業名	ものづくり操業環境支援事業		事業区分	新規事業	担当課	商工観光課	本事業に関係を有する課	
事業概要	<p>▶ 県と市で実施してきた製造業向けの企業誘致促進事業により、立地企業では従業者数を伸ばすなど規模の拡大が見られることから、立地企業との日常的な関係を構築するとともに、増改築・雇用等の課題を共有し、公的支援機関との連携により事業継続のための操業環境の確保を図る。</p> <p>▶ ものづくりの専門家である「ものづくりコーディネーター」が、市内製造業者を巡回訪問し、事業運営や技術面等に関する相談に応じる、また問題解決に向け、適切な支援機関に繋げる。</p> <p>▶ 生駒商工会議所と連携し、学研生駒工業会等の製造業者を支援する取組を行う。</p>							
期待する効果	市内への立地及びものづくり関連事業継続のための操業環境の確保							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	<p>▶ 製造業者訪問による情報収集 27千円</p> <p>▶ 展示会出展による製品PR支援 (No.5に計上)</p> <p>▶ 労働局・生駒商工会議所との連携によるものづくり企業等の合同就職面接会 (No.13に計上)</p> <p>▶ 労働局との連携による助成金説明会開催、メルマガ配信等支援情報の提供 (No.13に計上)</p>	<p>▶ ものづくりコーディネーターによる支援事業 3,943千円</p> <p>▶ 製造業者訪問による情報収集 43千円</p> <p>▶ 展示会出展による製品PR支援 (No.5に計上)</p> <p>▶ 労働局との連携による助成金説明会開催、メルマガ配信等支援情報の提供 (No.13に計上)</p> <p>▶ 生駒商工会議所との連携による学研生駒工業会支援事業(階層別研修・雇用・定着に資する取組等) 1,095千円(⇒EG推進補助金)</p>	<p>▶ ものづくりコーディネーターによる支援事業 等はNO.13人材確保等総合支援事業に統合</p> <p>▶ 労働局との連携による助成金説明会開催、メルマガ配信等支援情報の提供 (No.13に計上)</p> <p>▶ 生駒商工会議所との連携による学研生駒工業会支援事業(⇒EG推進補助金)</p>	→	→			
総事業費(千円)	27	5,081	0	未定	未定			
特定財源(国・県補助金等)								
その他一般財源	27	5,081						
事業実施に当たっての懸念事項								
その他特記事項	製造業者のプロモーションに関する支援は「ものづくり魅力発信事業」、雇用・就労に関する支援については「多様な雇用・就労環境拡大促進事業」「市内事業者人材確保・育成事業」展示会出展や補助金による支援は「企業誘致促進事業」「立地企業の事業継続支援事業」参照							
KPI(指標名・目標値)	事業者訪問による情報収集(件)	20	60	60	60	60		

特に該当する経営的施策						戦略的施策	3-(2)	行政改革大綱	(1) (2)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営						

No.12

事業名	多様な雇用・就労環境拡大促進事業	事業区分	新規事業	担当課	商工観光課	本事業に 関係を有する課			
事業概要	<p>▶ 子育てや介護と仕事との両立、障がい者が活躍しやすい職場づくり等、多様な働き方を積極的に取り入れ推進するモデルとなり得る事業者のサテライトオフィスを本市内に誘致。</p> <p>▶ 生駒商工会議所等と連携し、多様な働き方推進による雇用促進や人材定着に向けた支援を実施。 ▶ 企業の課題、ニーズや実践レベルに応じた多様な働き方の啓発事業実施。</p>								
期待する効果	従業員のワークライフバランスの充実、市民の職住近接、パラレルキャリアの実現等による就労環境の拡大								
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9				
	<p>▶ 生駒市サテライトオフィス等開設支援事業補助金(No.5に計上)</p> <p>▶ チラシ作成配布業務委託料(No.5に計上)</p> <p>▶ 企業訪問による情報収集(No.1に計上)</p>	<p>▶ 多様な働き方推進事業 1,617千円</p> <p>▶ 企業の課題やニーズに応じた情報の提供(多様な働き方実践応援セミナー入門編)</p> <p>▶ 市民向け啓発セミナー</p> <p>▶ 生駒市サテライトオフィス等開設支援事業補助金(No.5に計上)</p> <p>▶ 学研生駒工業会支援事業(多様な働き方啓発) ⇒EG推進補助金(No.1に計上)</p>	<p>▶ 多様な働き方推進事業等はNO.13人材確保等総合支援事業に統合</p> <p>▶ 学研生駒工業会支援事業(多様な働き方推進による雇用・定着に資する取り組み等) ⇒EG推進補助金(No.1に計上)</p>						
総事業費(千円)	0	1,617	0						
特定財源 (国・県補助金等)									
その他									
一般財源		1,617							
事業実施に当たった懸念事項	<p>▶ 他市町の補助額との比較により選ばれない可能性がある。</p> <p>▶ 市外事業者を対象としているためメーリングリストや広報誌が有効でなく、ニーズのあるところに届けるPRが難しい。(サテライトオフィス補助金)</p>								
その他特記事項	サテライトオフィス等開設支援事業補助金の詳細は「企業誘致促進事業」、製造業への支援は「ものづくり操業環境支援事業」参照								
KPI (指標名・目標値)	セミナー実施回数(回)	2							
特に該当する経営的施策						戦略的施策	3-(1)	行政改革 大綱	(1) (2)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営						

No.13

事業名	市内事業者人材確保・育成事業	事業区分	継続事業	担当課	商工観光課	本事業に関係を有する課			
事業概要	<p>▶ 労働局と連携し、課題やニーズに即した形で合同企業説明会を開催するほか、市内雇用の促進に向け市民に事業者の魅力伝える機会を設けるなど就業希望者とのマッチングを促進。</p> <p>▶ 個人事業主、家族経営の業態の事業者においては、事業承継や非正規雇用者等の確保、多様な就労ニーズに関する課題への対応を支援。</p> <p>▶ 生駒商工会議所等と連携し人材の定着に向けた支援を実施。</p>								
期待する効果	雇用の確保と定着による市内就業者の増加及び市内事業者の事業継続と発展								
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9				
	<p>▶ 労働局との連携による製造系・医療系面接会、子育て世代向けセミナー等課題に即した市民向け説明会・面接会開催 チラシ印刷 128千円 折込 44千円</p> <p>▶ 企業向けに雇用・育成関連助成金の申請・活用方法等説明会の開催</p> <p>▶ 企業訪問による情報収集、個別相談対応(No.1に計上)</p>	<p>▶ 労働局との連携による企業説明会・面接会・個別相談会等を課題やニーズに即した形できめ細かく分類し、実施 176千円</p> <p>▶ 企業向けに、雇用促進・人材定着に資する説明会・勉強会開催</p> <p>▶ 企業訪問による情報収集</p> <p>▶ 多様な働き方推進事業(No.12に計上)</p> <p>▶ 学研生駒工業会支援事業(採用・人材育成に資する取り組み)(No.1に計上)</p> <p>【R6 補正(繰越)】</p> <p>▶ 人材確保等総合支援事業 48,151千円(全額繰越)</p>	<p>▶ 労働局との連携による企業説明会・面接会・個別相談会等を課題やニーズに即した形で実施 234千円</p> <p>▶ 企業向けに、雇用促進・人材定着に資する説明会・勉強会開催</p> <p>▶ 企業訪問による情報収集</p> <p>▶ 多様な働き方推進事業</p> <p>▶ 学研生駒工業会支援事業(No.1に計上)</p> <p>▶ 製造業紹介冊子作成による市民や、学生へのPR(雇用支援と観光資源化)</p> <p>【R6補正(繰越分)】</p> <p>▶ 人材確保等総合支援事業</p>	<p>▶ 労働局との連携による企業説明会・面接会・個別相談会等を課題やニーズに即した形で実施</p> <p>▶ 企業向けに、雇用促進・人材定着に資する説明会・勉強会開催</p> <p>▶ 企業訪問による情報収集</p> <p>▶ 多様な働き方推進事業 -</p> <p>▶ 学研生駒工業会支援事業(No.1に計上)</p> <p>▶ 冊子掲載企業を中心とした工場見学会実施 -</p>	<p>▶ 労働局との連携による企業説明会・面接会・個別相談会等を課題やニーズに即した形で実施</p> <p>▶ 企業ニーズに応じた支援</p>				
総事業費(千円)	172	48,327	234	未定	未定				
特定財源(国・県補助金等)		33,843							
その他									
一般財源	172	14,484	234						
事業実施に当たっての懸念事項									
その他特記事項	製造業に関する支援は「ものづくり操業環境支援事業」「ものづくり魅力発信事業」、多様な働き方の推進については「多様な雇用・就労環境拡大促進事業」参照								
KPI(指標名・目標値)	面接会・説明会実施回数(回)	10	10	10	10				
特に該当する経営的施策						戦略的施策	3-(1)	行政改革大綱	(1) (2)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営						

No.5

事業名	公園施設長寿命化事業	事業区分	継続事業	主担当課	みどり公園課	本事業に関係を有する課	
事業概要	240箇所の都市公園における各施設の定期点検及び撤去更新工事を実施することにより、公園施設の安全確保や機能保全とともに、維持管理費用の縮減や業務の平準化を図る。また、公園遊具の更新については、インクルーシブ要素のある遊具の検討も進める。						
期待する効果	維持補修も含めて計画どおりに公園施設の維持管理を行うことができれば、安全と機能を確保しつつ、管理費の平準化を行うことができる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
	◇各施設の撤去更新工事 4,765千円	【R6補正(繰越)】 ◇各施設の撤去更新工事 30,280千円 (うち、27,824千円繰越) ◇遊具の定期点検 4,000千円 ◇令和5年度繰越 ▶各施設の撤去更新工事 33,712千円 ▶長寿命化計画見直し調査 45,804千円	【R6補正(繰越分)】 ◇各施設の撤去更新工事 ◇遊具の定期点検 4,521千円 ◇生駒山麓公園大型遊具更新 測量調査 2,013千円	◇生駒山麓公園大型遊具更新工事 (R8～R9:債務負担行為) ◇遊具の定期点検 5,000千円	◇生駒山麓公園大型遊具更新工事 (R8～R9:債務負担行為) 100,000千円 ◇遊具の定期点検 5,000千円		
総事業費(千円)	4,765	113,796	6,534	5,000	105,000		
特定財源 (国・県補助金等)	2,382	54,648	1,006		50,000		
その他		13,600	900		45,000		
一般財源	2,383	45,548	4,628	5,000	10,000		
事業実施に当たっての懸念事項	国庫補助金の交付を受けるためには、事業費30,000千円/年以上の確保が採択要件である。						
その他特記事項	公園施設長寿命化は全国的に事業化されている。インクルーシブ要素のある遊具の整備は本市では令和3年度に初めて実施したが、県内ではまだ事例が少なく、本市の導入が先進事例となっている。						
KPI (指標名・目標値)	長寿命化実施数(件)	24	4	0	0	1	

特に該当する経営的施策					戦略的施策	行政改革大綱	(3)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営				

事業名	南生駒駅周辺地区バリアフリー整備事業		事業区分	継続事業	主担当課	事業計画課	本事業に関係を有する課	土木課	
事業概要	<p>▶ 令和2年度に生駒市バリアフリー基本構想、令和3年度に生駒市バリアフリー特定事業計画を策定。</p> <p>▶ 令和4年度から計画に基づき、バリアフリー整備事業を実施。</p>								
期待する効果	高齢者や障がい者の方々をはじめ、妊婦、子育て層など、誰もが安心して暮らせるまちづくりに寄与する他、通学路の安全対策も見込める。								
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9				
	<p>【R5補正(繰越)】 跨線横断歩道橋整備 ▶ 詳細設計業務 (50,000千円繰越)</p> <p>道路特定事業(市道)整備 ▶ 詳細設計業務</p>	<p>【R5補正(繰越分)】 跨線横断歩道橋整備 ▶ 詳細設計業務 等</p> <p>【R6補正(繰越)】 跨線横断歩道橋整備 ▶ 詳細設計業務 等 71,700千円 (うち、68,983千円繰越)</p> <p>道路特定事業(市道)整備 ▶ 工事施工 ※歩行者空間整備事業で施工</p>	<p>【R6補正(繰越分)】 跨線横断歩道橋整備 ▶ 詳細設計業務 等</p> <p>跨線横断歩道橋整備 ▶ 補償費算定業務</p>	<p>跨線横断歩道橋整備 ▶ 工事施工 ※R8、R9債務負担予定</p>	<p>跨線横断歩道橋整備 ▶ 工事施工(完了予定) ※R8、R9債務負担予定</p>				
総事業費(千円)	50,484	71,700	1,364	750,000					
特定財源 (国・県補助金等)	12,603	33,839		375,000					
その他									
一般財源	37,881	37,861	1,364	375,000					
事業実施に当たっての懸念事項	<p>▶ 跨線横断歩道橋の事業にあたっては、整備後の利用動線や施工時期等に配慮する必要があるため、鉄道駅バリアフリー事業の事業者である鉄道事業者と協議、調整が必要。</p> <p>▶ 駅周辺の県管理道路の整備にあたっては、奈良県が実施している小平尾バイパス整備事業や今後実施予定となっている河川改修事業との連携が必要な他、財源の確保が課題となっている。実現には河川改修事業の早期着手が求められることから、事業者である奈良県との協議、調整が必要。</p>								
その他特記事項									
KPI (指標名・目標値)									
特に該当する経営的施策							戦略的施策	行政改革 大綱	(3) (4)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	○	III 広報広聴・シティプロ モーション	IV 行政経営	○				

事業名	学研北生駒駅中心地区まちづくり推進事業		事業区分	継続事業	主担当課	学研推進課	本事業に関係を有する課	事業計画課、都市づくり推進課	
事業概要	<p>▶学研北生駒駅北側に位置する市街化調整区域(約6ha)の市街化編入を行い、組合施行の土地区画整理事業によってまちづくりを進める。</p> <p>▶事業実施に必要な各種調査や計画作成など、地区内地権者主体のまちづくりに向けた支援を行う。</p> <p>▶土地区画整理事業による駅前広場や道路等の基盤整備に加え、「学研高山地区の玄関口」「北部地域の拠点」にふさわしい、地域の顔となり、身近な生活や交流を支援する機能が集約された拠点形成を図る。</p>								
期待する効果	身近な生活や交流を支援する機能が集約された拠点形成 都市機能の集積による税収の確保								
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9				
	◇準備組合設立 ◇都市計画変更手続き 【R5補正】 ◇区画整理促進調査等 11,400千円 ▶換地設計準備 ▶建物概要調査 ▶組合設立準備 ▶地権者組織運営支援 ◇中心地区事業計画会議運営 244千円	◇都市計画変更手続き 【R6補正(繰越)】 ◇区画整理促進調査等 38,100千円 (うち、19,400千円繰越) ▶換地設計準備 ▶不動産鑑定 ▶組合設立準備 ▶地権者組織運営支援 ▶R5補正(繰越分) ◇事業推進費 740千円 ◇中心地区事業計画会議運営 380千円 ◇業務代行予定者の公募	【R6補正(繰越分)】 ◇区画整理促進調査等 ◇関係機関協議等支援 9,966千円 ◇景観形成ガイドライン作成 4,202千円 ◇VR更新業務 1,529千円 ◇土地区画整理事業準備団体補助金 100千円 ◇中心地区事業計画会議運営等 177千円 ◇組合設立認可 ◇業務代行者決定	◇組合等区画整理補助 ◇中心地区事業計画会議運営等 500千円 ◇地区内外インフラ整備(各担当課)	◇組合等区画整理補助 ◇都市再生土地区画整理事業補助 ◇中心地区事業計画会議運営等 500千円 ◇地区内外インフラ整備(各担当課)				
総事業費(千円)	11,644	39,220	15,974	500	500				
特定財源 (国・県補助金等)	3,800	12,700							
その他									
一般財源	7,844	26,520	15,974	500	500				
事業実施に当たっての懸念事項	▶事業化に向けた地権者の合意形成 ▶学研高山地区第2工区事業と連携・連動した事業実施								
その他特記事項	・R8以降の事業実施に伴う補助金額は事業計画策定に伴い別途計上								
KPI (指標名・目標値)	合意形成 (%)	仮同意取得率 (90%)	準備組合加入率 (90%)	本同意取得率 (90%)					

特に該当する経営的施策						戦略的施策	1-(2) 4-(2)	行政改革 大綱	(1) (4)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロ モーション	IV 行政経営						

No.16

事業名	橋梁長寿命化修繕事業		事業区分	継続事業	担当課	管理課	本事業に関係を有する課	土木課	
事業概要	5年ごとに長寿命化修繕計画を策定することが定められており、令和元年度に2回目の長寿命化修繕計画を策定。その計画に基づき、令和2年度以降、交付金要望や予防保全設計、工事の実施を進めている。								
期待する効果	効果的な補修や予防保全を行い長寿命化を図る。								
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9				
	〈工事〉 【R5補正(繰越)】 第2阪奈1号橋(一般部第1、2径間) 60,000千円 第2阪奈1号橋(橋面舗装) 15,000千円 〈委託〉 菜畑乙田線横断4号橋 3,982千円 芝辻橋 4,235千円	〈工事〉 【R5補正(繰越分)】 第2阪奈1号橋(一般部第1、2径間) 【R6補正(繰越)】 第2阪奈1号橋(一般部第1、2径間) 150,093千円 中菜畑歩道橋(跨線部) 10,000千円 芝辻橋 20,000千円 高山町地内橋梁 1,170千円 〈委託〉 清水橋2 7,500千円 橋梁長寿命化計画更新 7,000千円	〈工事〉 【R6補正(繰越分)】 第2阪奈1号橋(一般部第1、2径間) 中菜畑歩道橋(跨線部) 芝辻橋 【R7現年】 中菜畑歩道橋(跨線部) 50,000千円 芝辻橋 10,000千円 〈委託〉 無名橋530 3,000千円 無名橋550 3,000千円	〈工事〉 菜畑乙田線横断4号橋 10,000千円 〈委託〉 池谷橋 3,000千円 阿弥陀寺歩道橋 3,000千円	〈工事〉 第2阪奈1号橋(跨線部) 60,000千円 阿弥陀寺歩道橋 15,000千円 〈委託〉 辻合橋 3,000千円				
総事業費(千円)	83,217	195,763	66,000	16,000	78,000				
特定財源(国・県補助金等)	45,770	107,669	36,300	8,800	42,900				
その他	33,700	72,900	26,700	6,400	31,500				
一般財源	3,747	15,194	3,000	800	3,600				
事業実施に当たった懸念事項	▶ 鉄道跨線橋については、鉄道事業者との協議・調整の上、進めていく必要がある。 ▶ 事業を進めていくにあたって、道路メンテナンス事業補助金の確保が必要である。								
その他特記事項									
KPI(指標名・目標値)									
特に該当する経営的施策							戦略的施策	行政改革大綱	(3)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営	○					

No.8

事業名	戸籍における氏名の振り仮名の記載に対応するためのシステム改修等	事業区分	継続事業	担当課	市民課	本事業に関係を有する課	
事業概要	戸籍にこれまで記載がなかった氏名の「振り仮名」を必須とする改正戸籍法が令和5年6月に国会で可決、成立した。令和7年5月頃に施行予定で、全国民が施行後1年以内に本籍地の市区町村に届ける必要がある。本業務は、追加のシステム改修、本籍人への通知、返送後の入力、住所地への通知等を行うものである。						
期待する効果	戸籍に振り仮名を記載することにより、戸籍の特定がより確実なものとなるほか、戸籍システム上で検索項目として活用することにより、業務効率の向上も期待できる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
	システム改修(R5年度分) 戸籍情報システム改修 5,654千円 住民基本台帳関連システム改修費 11,000千円	▶ システム改修(R6年度分) 【R6補正(繰越)】 ▶ 通知書作成、発送準備等 (2,772千円繰越)	【R6補正(繰越分)】 ▶ 通知書作成、発送準備等 ▶ 申請受付対応(通知書発送、入力等) ▶ 追加 システム改修				
総事業費(千円)	16,654	5,789	14,523	0	0		
特定財源(国・県補助金等)	16,654	5,789	5,336				
その他一般財源			9,187				
事業実施に当たっての懸念事項	戸籍へ氏名の振り仮名を記載後、公証された氏名の振り仮名を住民基本台帳及びマイナンバーカードへの記載が予定されている。						
その他特記事項							
KPI(指標名・目標値)							

特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱	(1)
I スマートシティ・DX	-	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営				

事業名	公共施設マネジメントの推進	事業区分	継続事業	主担当課	施設マネジメント課 ファシリティマネジメント 推進室	本事業に 関係有する課	消費生活センター、男女共同 参画プラザ、商工観光課、教 育総務課、教育政策室、こど も園準備室 等
事業概要	公共施設マネジメントを推進するため、下記の事業を実施する。 生駒駅前周辺施設の再配置と総量縮減の推進 ▶個別施設計画に基づく適正配置と土地建物利活用の検討 ▶セイセイビルへの交流拠点(生駒市テレワーク&インキュベーションセンター元町等)の整備と生駒駅前周辺施設の事業再配置の検討						
期待する効果	公共施設の総量削減による財政負担の軽減と生駒駅前エリアの価値向上・利便性向上が期待できる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
	◇事業再配置に向けた検討	◇生駒駅前周辺施設の事業再配置による整備と移転 【R6補正(繰越)】 ▶セイセイビルへの交流拠点の整備と移転設計(12,231千円繰越) ▶適正配置と土地建物利活用の検討 ・利活用の可能性の調査・検討 ・サウンディングの実施	◇生駒駅前周辺施設の事業再配置による整備と移転 ▶セイセイビルへの交流拠点の整備と移転 ・設計【R6補正(繰越分)】 ・工事 ▶適正配置と土地建物利活用の検討 ・利活用の方向性の検討(債務負担)	◇生駒駅前周辺施設の事業再配置による整備と移転 ▶適正配置と土地建物利活用の検討 ・利活用の方向性の決定(債務負担)	◇生駒駅前周辺施設の事業再配置による整備と移転 ▶適正配置と土地建物利活用の検討 ・検討結果に基づく履行		
総事業費(千円)	0	18,531	65,595	10,956	未定		
特定財源 (国・県補助金等)		3,700	32,797				
その他 一般財源		14,831	32,798	10,956			
事業実施に当たっての懸念事項							
その他特記事項							
KPI (指標名・目標値)							

特に該当する経営的施策					戦略的施策	行政改革 大綱	(3)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロ モーション	IV 行政経営	-			

事業名	オフィス改革	事業区分	継続事業	担当課	総務課	本事業に関係を有する課	デジタルイノベーション推進課、企画政策課、情報システム管理室、人事課
事業概要	<p>市庁舎では、物品の整理整頓ができておらず、紙中心の業務により、保管用の什器が執務室を圧迫し、個々の業務に適した執務環境づくりができていない状況です。今後、多様化する市民ニーズや社会環境の変化に応じていくために、より一層の部門間の連携や、多様な働き方が可能な、機能的で快適な職場環境を整備する必要があります。そのためには以下の課題に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 執務室内の机・椅子等を効率的に配置すること ▶ 働き方の属性に合わせた情報機器類の整備 ▶ 少人数の打合せ、大人数の会議等、様々な形態に対応できるような備品の整備 						
期待する効果	働きやすい環境を整備することで、職員の満足度が高まり、その結果、業務の効率化や生産性の向上が図られる。						
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9		
	◇パイロットオフィス備品等購入 ▶ 机椅子、什器等 9,906千円 ◇パイロットオフィス効果検証	【R6補正予算(繰越)】 ◇オフィス改革方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 基本計画 4,783千円 ▶ 基本設計 3,465千円 ▶ 実施設計 3,718千円 ▶ 入替計画策定 2,750千円 (うち、14,710千円繰越) 	【R6補正(繰越分)】 ◇オフィス改革方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 基本計画 ▶ 基本設計 ▶ 実施設計 ▶ 入替計画策定 	◇オフィス備品等購入・移転費用 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 移転等業務委託 ▶ フロア改修等工事 ▶ 机椅子、什器等 	◇オフィス備品等購入・移転費用 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 移転等業務委託 ▶ フロア改修等工事 ▶ 机椅子、什器等 		
総事業費(千円)	9,906	14,716	0	未定	未定		
特定財源(国・県補助金等)				R7のオフィス改革方針策定を行った上で各年度の事業費を精査するものとする			
その他							
一般財源	9,906	14,716	0				
事業実施に当たっての懸念事項	日々の業務や窓口をしながら備品の入替や場合によっては課の場所の移転を行っていくことになることから、一時的に入替中の課の業務スペースを会議室等に移転しなければならない可能性がある。(仮オフィスでの業務の実施)						
その他特記事項	オフィス改革に合わせて紙中心の業務からデジタル中心の業務に転換を進めていく必要がある。(ペーパーレス化)						
KPI(指標名・目標値)							

特に該当する経営的施策						戦略的施策	行政改革大綱	(5)
I スマートシティ・DX	II 市民協働・公民連携	III 広報広聴・シティプロモーション	IV 行政経営					